# 市民力かわら版

第１１号
平成２１年５月１５日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電　話：0287-43-1112
ファクス：0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp

## 新緑の高原山　魅力いっぱい　県民の森

「栃木県民の森」は昭和四十九年に明治百年事業として「自然に親しむ環境を県民に提供することにより、豊かな情操のかん養と健康の増進を図る」ことを目的に設置されました。森全体が「森林・林業等を通じて自然を知る野外博物館」となっており、県内外を問わず多くの人が訪れる魅力いっぱいの場所です。

栃木県民の森では県内全域を対象に野生動物の保護活動を行っています。対象となる動物は人間社会の与えた影響によって傷付いたり、衰弱してしまっている動物に限ります。例えば交通事故に遭遇してしまったタヌキや、ガラス窓に直撃し傷付いた野鳥などですが、中には「かわいそう」と巣から落ちたヒナを連れてくる誤認保護もあるそうです。そこで「ヒナを拾わないで」という広報活動が県内の小中学校対象に行われています。ヒナは飛ぶ訓練の最中だったかもしれませんし、巣の中での生存競争から外れてしまったのかもしれません。いずれにしても自然の仕組みにおいて生じた事態ですので、人間は決して手を出してはいけません。誤認保護はおじいちゃん・おばあちゃん方に多いそうです。お孫さんとヒナを見つける場合が多いからでしょうが、これは自然の生態系を壊している事に違いはありません。

まずは子どもの視点から誤認保護を正しく認識してもらおうという広報活動が浸透し、毎年減少しているそうです。保護した傷病鳥獣の自然復帰率は五〇％を超えています。中には自然復帰が難しく、飛べなくなってしまった猛きん類は他県の動物園に引き取られ新たな生き方を見つけた保護動物もいるそうです。

また有害鳥獣に対する活動も行われています。駆除や捕獲が主な対処法ですが、野生動物が対象ですので銃や仕掛けで捕獲駆除するにも許可を得ていないと出来ません。しかし、ほかにも民家と裏山との間を刈り込み動物の隠れる場所を作らないなど方法があり、その指導説明会なども開いているそうです。現在、イノシシやシカの被害はもちろんですが、近隣県で発生しているアライグマ被害などが県境を越えるのも時間の問題であるなど、今後も新たな対策や県民に対する情報の配信が行われるとのことでした。

**ね、根っこ！** もう一つの名物はカツラの根っこ。マロニエ昆虫館の入口にドンと鎮座しています。とにかく大きい！だって大きすぎて根っこを運んでから建物を建てたのですから。正面に見えているのは根っこの裏側。一見の価値有り。虫もかくれんぼしてるよ。

### メタセコイア

「ア日し植らの芽メ取゜出で見言きメとアく所県ケ本た樹れ苗しリさ中来しさわてタがのとの民ボ名゜さ各木たカれ国まかれれいセ出木、先のノは　れ地が百で、でせ知る、るコ来にメを森
まに送本発ア採たが石発も生　こイい務んるま中化イま出タ進管でこで国石アす会セん理しと化でとは゜うコで事

かにども　うれ本のメ育幹命スが行こ面名でたで中タしも名ギでつに白前す木皇でセた太さ「してあいの゜と居もコ県くれ昭ょみるで音　兄に自イ民高ま和うてかすの　弟植慢アのゝし天かは探ね響　だえのは森とた皇。いし゜き　そら一その生゜が